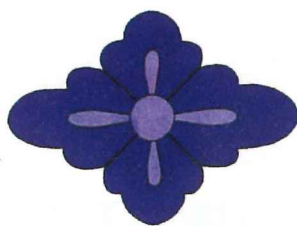




菩提樹

佛さまに育てられる年輪



編集・発行
正法寺
山口市江崎2710
TEL
083-989-2213
FAX
083-989-5339

第18号 令和2年4月発行



写真：令和元年8月2日 第50回山口南組児童念仏奉仕団の記念写真。中央は専如門主。

はじめて手を合わせたときのことを
覚えていきますか？

冒頭の言葉は、今年の御正忌報恩講で、御講師の小林顕英先生が、参詣者の方々に投げかけた質問です。

手を合わせるという行為は、元々は、仏教が生まれたインドでなされていた所作です。手を合わせる姿は、相手に対して敬意を伝える意味があります。「あなたのことを心からお敬いしています」ということを、行為で伝えるのが、手を合わせるといふ姿です。

私たち浄土真宗のみ教えをいただく者は、阿弥陀如来様に手を合わせます。阿弥陀如来様をお敬いし、阿弥陀如来様の温かい慈しみと深い悲しみを、最も大切な人生の柱と受け止めていくからです。しかし、仏様をお敬いするようになったから、手を合わせ始めたという人は少ないと思います。自分の知らない間に、手を合わせるようになっていたというのが、多くの人の実感ではないでしょうか。知らない間に手を合わせるようになり、何度も仏様に手を合わせるうちに、少しずつ阿弥陀如来様のお心とその働きが味わえるようになっていくものだと思います。形から入るといふのは、仏教において、とても大切なことなのです。

自分にはじめて阿弥陀如来様に手を合わせたときの記憶がないのなら、それは、私を思う誰かが、私に手を合わせるようにしてくださったということでしょう。仏教が説く真実に目覚めたとき、手を合わせず自分自身の姿の上に、深い愛情が働いていたことに気づかされるのです。

今年の菩提樹は、正法寺日曜学校を中心に編集されました。何も分らない子どもが、素直に阿弥陀如来様に手を合わせる姿は、本当に可愛いものです。誰もが、何も分らないまま素直に手を合わせることで、そんな温かい場所がお寺です。子どもから大人まで多くの人が集い、それぞれがそれぞれのまんま阿弥陀如来様に手を合わせていくお寺の姿を、これから大切にさせていただきます。

(正法寺住職)

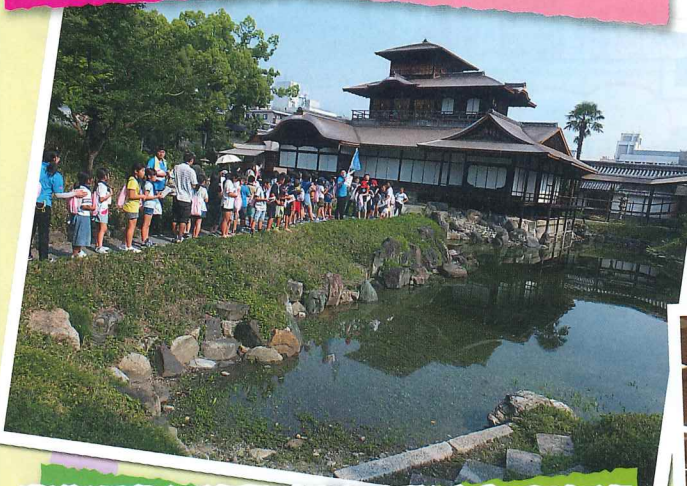
第50回山口南組児童念仏奉仕団記念参拝

私が京都に行って楽しかったことは、二つあります。一つ目は、ホテルに泊まったことです。好きだったドラマをみんなで見て、とても楽しかったです。

二つ目は、映画村に行ったことです。たくさん遊ぶところがあって、とても楽しかったけど、お化け屋敷は恐かったです。

6年間の中でも、いい経験になりました。

興進小学校6年 高橋愛琉



夏休みに西本願寺に行きました。一人で遠くへ泊まりに行くのは初めてで不安だったけど、新幹線で二時間半、おしゃべりしていると、アツと言う間に着きました。

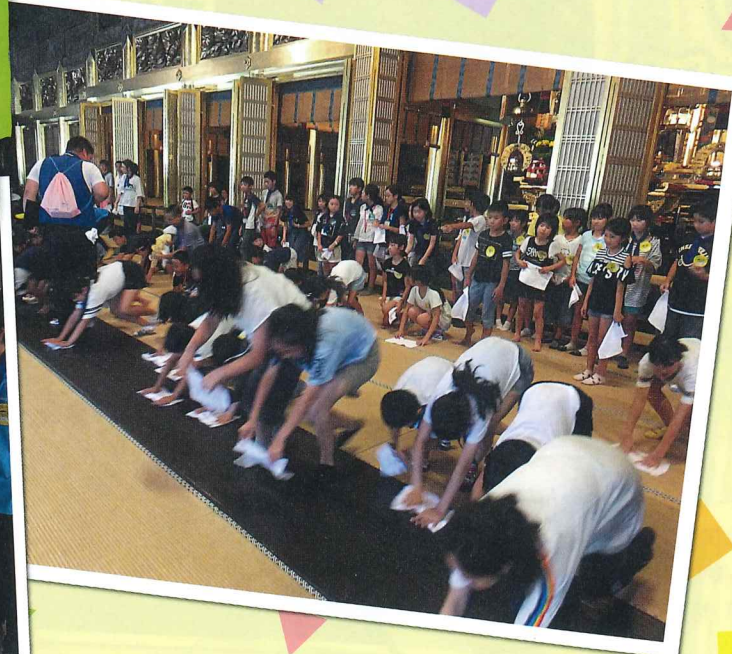
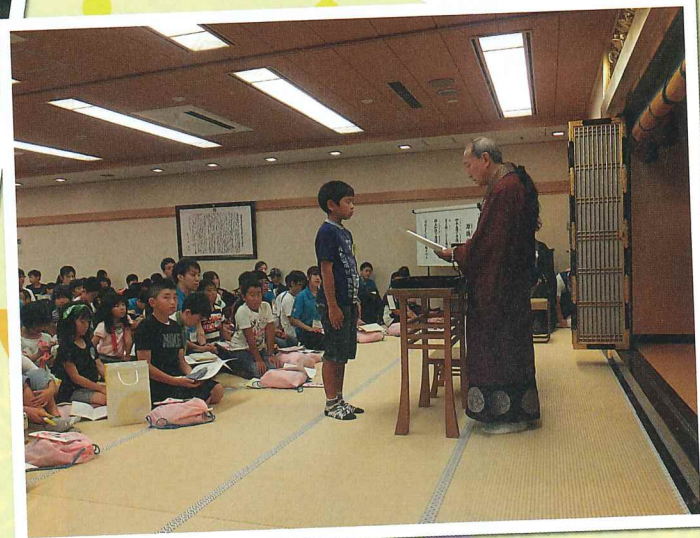
大きなお寺でのお勤めは、なんだか気持ちがシャキッとしました。その後のクイズラリーも初めて知ることがいっぱい勉強になりました。自由時間では、知らない人とも友達になれました。

とても楽しく、充実した京都旅行でした。

小郡南小学校4年 後藤紳之介



毎年、山口南組主催で開催されている児童念仏奉仕団が、昨年50回目の記念開催を迎えました。児童念仏奉仕団は、小学4年生～小学6年生を対象に、夏休みの二日間、京都のご本山本願寺へ参拝し、清掃奉仕をさせていただくものです。50年もの間、毎年絶え間なく実施してきた団体は、全国でも数少なく、ご本山において表彰を受けました。山口南組14ヶ寺から36名の子ども達が参加し、その内、正法寺日曜学校からは11名の子ども達が参加しました。2名の保護者と正法寺住職を含めた4名の住職が引率者として上山いたしました。



8月1日、2日に京都にある西本願寺に行きました。目的は、お寺の奉仕です。僕は、2回目でしたが、西本願寺は、何回見ても、すごく大きかったです。

全国から約300人ほどの子どもが来ていて、僕は、その子ども達の前で山口市の紹介をしました。人数がたくさんいて緊張したけど、上手く話せました。

その後も、掃除や朝の早い時間にお勤めなど、たくさんのことが学べ楽しめました。またいつか京都に行き、西本願寺を見てみたいです。

興進小学校6年 樋口匡吾



毎月第1日曜9時開校

1年間の行事を紹介していくよ!!

1月

8月

4月

3月

12月

5月

御正忌報恩講

サマースクール

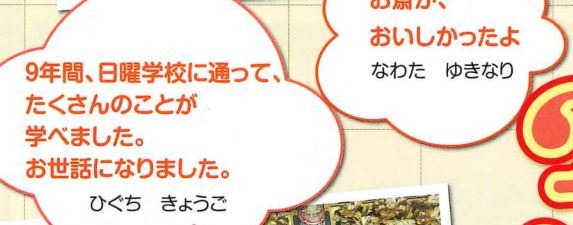
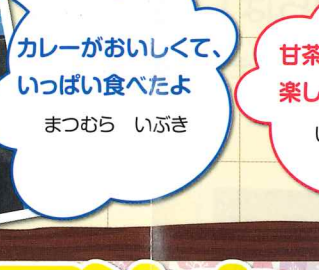
花まつり・開校式

修了式

年末清掃奉仕・お餅つき

新入生歓迎会

正法寺
日曜学校
~お慈悲に抱かれる
子ども達~



ケンチョウが、味が染みてておいしかったよ
はまなか ななこ

たくさんのお参りの人がいたよ
すぎやま せと

お化け屋敷は、恐いから行きませんでした
よしだけ まや

花火がバーンとあって、びっくりしたよ
みすぐち あやの

甘茶がおいしくて、何回も飲んだよ
すぎやま りのあ

枝豆をたくさん食べて、おなかいっぱいになった
くぬぎお いっせい

カレーがおいしくて、いっぱい食べたよ
まつむら いぶき

甘茶をかけるのが、楽しかったよ
いわわき にか

お供えしたお花も、きれいだったよ
ごとう しんのすけ

9年間、日曜学校に通って、たくさんの方が学べました。お世話になりました。
ひぐち きょうこ

お蕎麦が、おいしかったよ
なわた ゆきなり

みんなでするゲームは、楽しかったよ
おおもと こうせい

さくらが、本当にきれいでした
たかい まさと

たくさん遊んだり、学べたりできて、楽しかったです
たかはし あいる

とってもきれいになったよ
くぬぎお みつき

真っ白になったよ
たなか れい

焼きそば、おいしかったね
たかはし みおん

仲間と一緒に お寺で学べて、うれしかったです
まき ゆきえ

あんこが入っていないお餅も、おいしかったよ
はまなか ななこ

お餅が、やわらかくておいしかったよ
よしなが ゆうま

みんなで遊べて、とっても楽しかった
ひぐち じゅんな
ひぐち あやか

入堂

開扉

お勤め

仏の子のちかい

み仏様のお話

絵本の時間

ゲーム

おやつをもらってお別れ

基礎からはじめる真宗講座

近年、お仏壇が御安置されている一つのお家に、親世帯と子ども世帯が同居することが珍しくなり、仏教的な価値観の継承が難しくなっています。

その一方で、浄土真宗のみ教えに対して興味を失っている方が多いかというところ、必ずしもそのようには感じません。ご法事等で御門徒の方々とお話をさせていただくと、両親や祖父母が大切にしていた浄土真宗のみ教えが、どんなことを教えているのかに興味を持っている方が、たくさんいらつしやるように感じていました。

お寺は、仏様のみ教えに心惹かれる者なら、誰もが足を運べる場所であればなりません。基礎からはじめる真宗講座は、初めてお寺に足を運ぶ人でも、気兼ねなくお参りし、み教えに耳を傾けることのできる、そんな御法座を目指して始まりました。

平成27年からはじめた真宗講座も、今年、6年目に入ります。5年経過した現在でも、毎回、70人前後の方々をご参詣され、住職が取り次ぐ仏様のお話に耳を傾けてくださっています。

これまでのテーマをピックアップ

み教えに関するもの
【修行について】 【お経について】
【お浄土について】

仏事作法に関するもの
【葬儀について】 【ご本山と宗派組織について】
【金封の種類と表書きについて】



御正忌報恩講を彩る華餅

正法寺の本堂が、一年で最も華やかに荘厳されるのが、親鸞聖人の御正忌報恩講です。親鸞聖人の御遺徳を偲び、阿弥陀如来様を深くお敬いする心から、お灯明、お花、お香など、通常よりも、より丁寧なお供えがされます。その中でも、当番地区の御門徒の手によって特に丁寧に作られているのが、お餅です。仏様にお供えする菓子や果物などの食物の中で、仏事作法として、最も重んじられているのがお餅なのです。

御正忌報恩講のお餅は、綺麗に形と大きさが整えられた小餅を、芯を用いず直接盛り上げていく直盛という盛り方で丁寧に形作られています。盛り上げられた小餅には、赤色や黄色、青色などの食紅で色付けがされていきます。供物でありながら、お花のように、仏様の周りを華やかに飾りすることから、華餅ともいわれます。

当番地区の御門徒の手によって丁寧に作られた華餅は、御正忌報恩講の御満座が閉座した後、仏様からの「お下がり物」として、お世話の方々の手によって、広く御門徒の家々に届けられています。私自身が生きていく上で欠かすことのできない食物も、仏様からのお恵みであり、私自身が生かされている尊い身であること、改めて味わっていただくのです。

小さく切られた小餅を、一つずつ崩れないように盛っていきます。



バケツ10杯分(20升)の餅米が使われます。



お餅を流し込む筒を作るところから始まります。内側には、お餅がひっつかないように米油を塗ります。



盛り上がった華餅は、御正忌報恩講の三日間、本堂の阿弥陀如来様を初め、親鸞聖人、蓮如上人、七高僧様、聖徳太子様に丁寧に供えられます。

200本の筒にお餅を流し込み、この状態で三日間置きます。



つきたてのお餅を、丁寧に筒の中に流し込んでいきます。



筒から取り出した棒状のお餅を、餅切り機で、同じ大きさになるよう、丁寧に切っていきます。けっこう体力を使います。



三日間で、ある程度固まったお餅を、丁寧に筒から取り出していきます。



寺 族 ア ル バ ム

この度、長女の如恵が、ご本山本願寺の御正忌報恩講期間中に開催される「全国児童生徒作品展」絵画の部において特選を受賞しました。1月13日に京都のご本山本願寺において行われた表彰式に招かれ、出席いたしました。



満堂の本願寺御影堂で、浄土真宗本願寺派の石上智康総長より表彰状が授与されました。



受賞作品の前で、お兄ちゃんといっしょ笑顔です。



受賞作品です。小さな時のお兄ちゃんが、4月8日の花まつりで、お釈迦様の誕生仏に甘茶をかける姿を描きました。1月9日～1月16日までの御正忌報恩講期間中、本願寺阿弥陀堂内に展示されました。



本願寺御影堂の前で記念撮影です。この度、正法寺の御正忌報恩講前の準備で忙しかった坊守と法務で忙しかった住職に代わり、お兄ちゃんが、京都まで新幹線で付き添ってくれました。4月から、長男の法響は、川西中学校の3年生、長女の如恵は、川西中学校の1年生です。

総代退任並びに 就任報告



新 総代
徳田 正則氏
担当地区 後寺内
上今津今津ヶ丘



新 総代
白川 昭則氏
担当地区 高根各地区
上渡り幸の橋



新 総代会長
泉 専六氏
担当地区 東今津
北の江

※久保総代は、平成13年から18年間、有田総代は、平成14年から17年間にわたり、正法寺の護持発展に総代としてご尽力くださいました。まことにありがとうございました。



総代副会長
有田 裕氏
担当地区 後寺内
上今津今津ヶ丘



総代会長
久保 實氏
担当地区 高根各地区
幸の橋上渡り

仏教婦人会 代表役員紹介



井本 由子 さん
西村 由紀江 さん
石田 和代 さん

編集後記
今回は、第50回山口南組児童念仏奉仕団及び正法寺日曜学校を中心に編集しました。新型コロナウイルス感染症が心配です。阿弥陀様の願いの中で、生かされていること喜びたいと思います。

編集委員
久保 實
西村由紀江
泉 専六
末廣 洋子

正法寺ホームページ <http://www.shouhouji.com/>
「[山口市正法寺](http://www.shouhouji.com/)」で検索して下さい。
毎月更新しています。過去の菩提樹もすべて閲覧できます。